

※演奏時のみマスクを外しています。



1



4



3



2

1_10日間のフィナーレを飾ったラストコンサート(4月4日)。美しく力強い音色が響き渡り、会場は一体感に包まれた／2_ラストコンサートでは、上山がロケ地となった映画『おくりびと』にちなんだサプライズ演出も。俳優の本木雅弘さんから市民に向けたメッセージビデオが上映された／3_上山城で行われた「チェロと室内楽の公開レッスン」。アドバイスを受け、演奏の腕を磨く(3月26日)／4_市立図書館で行われたまちなかコンサート(3月29日)。来場者は上質な音色を楽しんだ

響き合う心、分かち合う喜び

上山音楽祭“ル・シャトーかみのやま”2021

Festival "Le Chateau de Kaminoyama"

3月26日～4月4日、
「上山音楽祭 ル・シャトーかみのやま 2021」が開催され、若手音楽家14人が市内各所で美しい音色を響かせました。

本イベントは、上山の風土を感じながらレッスンやコンサートを行い、若手演奏家たちの技術と感性を磨くとともに、まちを音楽で包み込もうという企画。5回目を迎えた今回は、徹底した感染症対策の中で開催されました。

参加者は、国内外で活躍するチェリストの中木健二さん(音楽監督・東京藝術大学音楽部准教授)、ピアニストの永田美穂さん(本市出身)とともに、上山城での公開レッスンや市立図書館、旅館での公演を繰り広げました。毎年レッスンを聴きに上山を訪れるという人は「音楽を身近に感じられるのがこのイベントの魅力。上山を第2の故郷のように感じています」と微

笑みました。

最終日には、三友エンジニア体育文化センターでラストコンサートが開催。訪れた人は「演奏から一人ひとりの個性を感じ、音楽の持つ力に心を動かされました」と話しました。

コンサートを終え、参加者の泉優志さんは「温かく声をかけてくださる地域のみなさんや、上山の豊かな自然からたくさんの刺激を受けました。必ずまた戻って来ます」と充実した表情を見せました。中木さんは「例年がない困難の中、音楽を通して地域のみなさんに癒しと元気を届けたいという思いで準備を進めてきました。生の音楽を分かち合う喜びをあらためて実感する10日間になったと思います。毎年この季節を楽しみにしてもらえような、地域に根付いた音楽祭になるよう、学生とともに成長していきたいです」と前を見つめます。